



「未来志向」「ONE TEAM」で、JR産業に「安心」を取り戻そう！

2022年 2月28日

日本鉄道労働組合連合会

JR東海ユニオン 第1回団体交渉

会社に対して要求趣旨を強く主張

組合員の奮闘と労苦に報いるべく、「満額回答」を強く主張！！

JR東海ユニオンは2月22日、2022春季生活闘争の第1回団体交渉を行い、同11日に会社へ提出した申9号「賃金引き上げと夏季手当及び諸労働条件改善の要求について」に対する趣旨説明を行った。

交渉で、JR東海ユニオンは「①標準乗数を『4』とした定期昇給の年度初完全実施、②賃金をはじめ、各種労働条件・制度、福利厚生等の改善等を含む『総合生活改善の原資』として月例賃金総額の2%相当の改善、うちベースアップ1,000円、③制度改善等要求、④夏季手当2.7箇月」等の実現にむけて、会社に対して要求の趣旨を強く主張した。

長引くコロナ禍の影響により、JR東海グループは厳しい経営環境が続き、2期連続の赤字予想となっているが、JR東海ユニオンは「未来づくり春闘」を掲げ、働く者が高い意欲を持ち、安心して社会的使命を果たし続けられるように、中長期的視点で将来へむけた処遇改善を追求していくこととしている。

現段階で、会社との認識の差は大きく、これまでにない厳しい闘いとなることが予想されるものの、JR東海ユニオンおよびJR東海連合が一丸となってこの難局を乗り越えるべく、「ONEチーム」で2022春季生活闘争に臨み、さらには、組合員の奮闘と労苦に報いるべく、満額回答にむけて全力で団体交渉に臨むこととしている。

【要求内容】

(1) 標準乗数を「4」とした定期昇給の年度初完全実施

(2) 「総合生活改善の原資」として月例賃金総額の2%相当の改善、
うちベースアップ1,000円

(3) 夏季手当2.7箇月（6月30日支給） など